かがみいしフォトコン作品展

町の魅力捉えた力作並ぶ

力作写真の数々が並んだ会場

2019 かがみいしフォトコンテストの作品展が、イオンスーパーセンター鏡石店専門店街通路で行われました。

町内外の 62 名から応募があった 173 点が展示され、桜やあやめを写した季節を感じさせる作品から、かがみいし田んぼアート、オランダ祭りなど鏡石町ならではの魅力を捉えたものまで、個性あふれる様々な作品が並び、訪れた人たちは足を止めて作品に見入っていました。

県町村会定期総会で表彰

鏡石町が「優良町村」に

福島県町村会定期総会（書面開催）において、「行財政運営が総合的に充実し、その実績が他の模範となる」として、鏡石町が優良町村として表彰されました。遠藤栄作町長は「町民の皆様、町議会のご指導、ご協力の賜物。今後も町政進展のため、『進化するまちづくり』に取り組んで参ります」と話しています。

表彰状を手にする遠藤町長（中央）

「花いっぱいおもてなし事業」

岩農生が花の定植作業

鏡石駅で「花いっぱいおもてなし事業」として岩瀬農業高校の皆さんによる花の定植作業が行われました。

この事業は駅を花で彩り、来町者をお迎えしようと毎年行われています。今回は同校ヒューマンサービス科の２年生 15 名と、３名の先生にご協力をいただき、サルビアやマリーゴールド、ベゴニアなどの苗を、駅西口・東口の花壇に定植していただきました。

花苗の定植作業を行う生徒ら

鏡石町赤十字奉仕団

児童に手作りマスク

鏡石町赤十字奉仕団（渡辺啓子委員長）は、子どもたちの新型コロナウイルス感染症予防に役立ててほしいと、町内の幼稚園や保育所に手作りマスク計 550 枚を寄贈しました。

寄贈したマスクは団員が一つ一つ丁寧に手作りしたもので、児童たちは元気にお礼の言葉を述べると、早速お気に入りの柄のマスクを選んで着用していました。

マスクを受け取る園児ら（鏡石幼稚園）

高久田サロンで講座

認知症に理解深める

高久田集会所でサロンの一環として「認知症サポーター養成講座」が開かれました。

㈱バイタルネットの緑川直輝さんが講師を務め、参加者は認知症の主な症状や予防策、当事者との向き合い方などについて理解を深めていました。また、参加者には認知症の人やその家族の応援者である「認知症サポーター」の証として「オレンジリング」が手渡されました。

認知症について学ぶ参加者

2020 かがみいしフォトコンテスト

募集作品テーマ「鏡石町を観光してみたい！」

鏡石町観光協会では「鏡石町を観光してみたい！」をテーマに、鏡石町の風景、イベント、グルメなどの観光資源、素材、おいしいもの等を活かして、より多くの方々に来訪を動機づけできる作品を募集する「フォトコンテスト」を実施します。なお、入賞作品及び入賞に相当する作品は、広告・パンフレット等観光宣伝事業の素材として活用します。

今年については、新型コロナウイルス感染症の影響もあるため、「ステイホーム」をテーマにした作品も募集します。自宅で撮影した何気ない日常の写真等の応募も可能です（町内在住者限定）。

■**応募サイズ**　カラープリント四ツ切、ワイド四ツ切、Ａ４、六ツ切、ワイド六ツ切
■**撮影期間**　令和２年２月１日～令和３年１月 31 日の期間に撮影したもの
■**応募期間**　令和２年７月１日～令和３年１月 31 日（当日消印有効）
■**審　　査**　令和３年２月上旬
■**発　　表**　令和３年２月上旬　※入賞者に直接通知します。
■**展　　示**　令和３年４月上旬～５月上旬　イオンスーパーセンター鏡石店内にて（予定）
■**褒賞（予定）**　最優秀賞／１点　賞状・副賞（３万円）
優　秀　賞／１点　賞状・副賞（２万円）
あやめ賞／１点　副賞（１万円＋商工会商品券５千円分（マメタイムス社賞））
さくら賞／１点　副賞（１万円＋商工会商品券５千円分（阿武隈時報社賞））
岩瀬牧場賞／１点　副賞（商工会商品券１万円分＋楚人冠ヨーグルト（岩瀬牧場賞））
月刊すかっと賞／１点　副賞（１万円＋商工会商品券５千円分）
田園風景賞／１点　副賞（商工会商品券１万円分）
四　季　賞／４点　副賞（商工会商品券５千円分）
佳　　作／３点　副賞（商工会商品券５千円分）
特　別　賞／適宜　副賞（商工会商品券５千円分）
ステイホーム賞／１点　副賞（商工会商品券１万円分）

※応募規定は町観光協会ホームページをご覧ください。

●**応募・問い合わせ先**　〒 969-0492　鏡石町不時沼 345 鏡石町観光協会（町産業課内）　☎ 0248-62-2118